

平成 19 年 12 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 福井 政文
(コード 2388 大証ヘラクレス市場)
問合せ先 取締役管理部長 竹村卓郎
(TEL: 03-5217-0723)

株式会社エースデュースエンタテインメント製作
松井良彦監督最新作『どこに行くの?』2008年2月下旬公開決定

コンテンツを主軸とした総合エンタテインメント企業である株式会社ウェッジホールディングスの完全子会社(株式会社エースデュースエンタテインメント)が製作した映画『どこに行くの?』(主演:柏原収史)が、ユーロスペース(東京)にて、2008年2月下旬より公開されることが決定いたしました。

本作は、80年代インディーズ・ムービーの金字塔『追悼のざわめき』(1986年完成)で世間を震撼させた松井良彦監督の22年ぶりの新作であり、第二期・松井良彦のプロローグであります。『追悼のざわめき』以来となる待望の4作目は、邦画バブルもはじけつつある現在の日本映画界に、人々の多くが敢えて目をそらしてきた、映画を創ることの原初の衝動をよみがえらせてくれます。かつてのATG映画が担っていたような剥き出しのエネルギーは、その泥くささゆえに、観る者に確実なしこりを残すような作品です。

松井良彦監督はデビュー作の『錆びた缶空』(79)から一貫して疎外されている人間を描いてきました。そして今回、監督が選んだ「疎外」の形は同性愛であります。しかも性的トラウマを抱えた男性が、女性として生きる男性を愛する、という変化球になっていますが、そのこと自体はあまり重要ではないのです。なぜならこれは同性愛の映画ではなく、恋愛映画だからであいい、松井監督自身は本作を「非常にかわいらしい青春ラブストーリー」と語っています。

『どこに行くの?』

世界が拒絶した“初恋”、異形のラブストーリー



2007年/日本/カラー/100分/16:9/HD/ステレオ

監督・脚本:松井良彦

企画:小林洋一 松井良彦

録音:浦田和治

編集:宇賀神雅裕

音楽:上田現

出演:柏原収史 あんず 朱源実 村松恭子、
三浦誠己 長澤奈央 佐野和宏

制作:「どこに行くの?」製作委員会

制作プロダクション:ユーロスペース

配給:バイオタイド

公式HP: <http://www.dokonikuno.com/>

©2007「どこに行くの?」製作委員会

2008年2月下旬、ユーロスペースにてレイトショー 全国順次公開

【このリリースおよび作品についての問合せ先】

株式会社エースデュースエンタテインメント

住所:東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山台ビル 3階

TEL:03-3407-4150 FAX:03-3407-4153